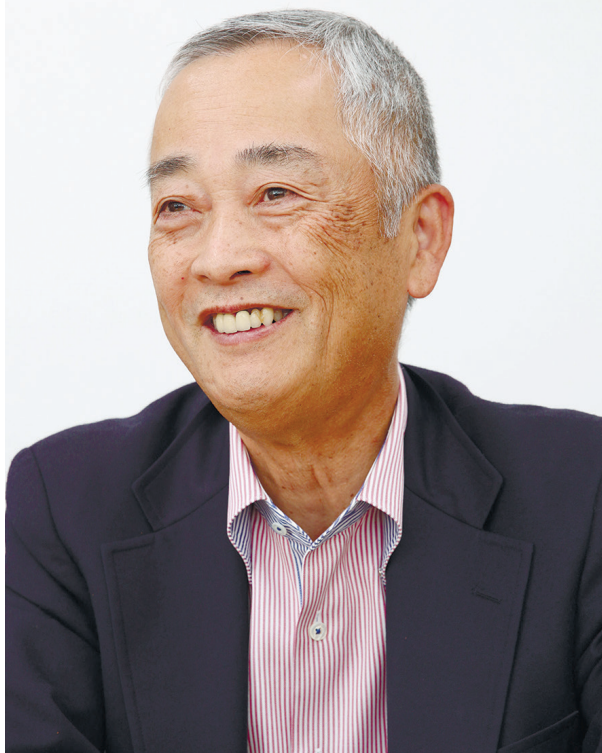


地域と共に成長できる空港へ



長崎空港ビルディング 代表取締役社長
ゆきしげ たかのり
幸重 孝典 氏

◎出身校

慶応義塾大学商学部

◎長崎の好きなところ

食べ物がおいしく、魅力的な観光地が多い

◎趣味

犬の散歩と健康維持を兼ねた1日1時間のウォーキング



長崎空港初の「ランウェイウォーク」の様様

新型コロナウイルス禍は想像以上に長く苦しいものでしたが、昨年秋の政府の全国旅行支援や水際対策の大幅緩和により、ようやく回復基調となってきました。乗降旅客数の減少が響き、2期連続の赤字でしたが、2023年3月期は3年ぶりに黒字を確保できるめどが立っています。

空港内の売店やレストランを直営してきましたが、新たな魅力づくりのためテナント2店舗（「蜂の家」「ログキット」）を誘致しました。展望デッキの全面改修やレストラン前の高天井の工事を進め、よりきれいで明るい環境へと改善。300台超を集めた「ガチャポンコーナー」は年齢を問わず人気です。

「地域に親しまれ、共に成長できる空港づくりは大切なテーマ。昨年は初の「ランウェイウォーク」を開催しました。今後も、イベントや食事、買い物などに足を運んでもらえる空港を目指していきます。西九州新幹線と組み合わせるような離島の旅行企画商品の開発などにも力を入れます。

社員と社長の「ダイレクトトーク」などにより社員の働く環境改善にも努めています。25年には長崎空港開港50周年の節目を迎えます。引き続き、国内外のお客さまに安全・安心・快適に利用していただける環境整備を図っていきます。

